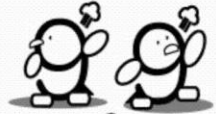


2011年7月号

平和憲法を守ろう!

9

ひらつか



9条の会  
ニュース

文責：事務局長 司法書士 大谷 潔 Tel.0463-24-0702/FAX 24-0712

連絡先：〒254-0811 平塚市八重咲町2番8号エクセルビル3階 平塚松風司法書士事務所

Email: matsukaze@mb.scn-net.ne.jp

ホームページ：http://www.geocities.jp/hirakujojp/

風と花と

てらだ きみあきら

九条の 九条の  
風よ吹け

さわやかな若草の  
風よ吹け

世界のすみまで  
吹き渡れ

九条の風よ  
吹いて吹いて花咲かせ

大輪の花  
咲かせてよ

九条の 九条の  
風よ吹け

## 震災と九条

★東日本大震災で被災者の救援と原発の放射能漏れ対策が急務となっています。なんとこの大震災に便乗して憲法改悪の策動が強まっています。

★五月三日の憲法記念日には、自民、民主、公明などの国会議員でつくる「新憲法制定議員同盟」など改憲派の団体が集会をひらき、「東日本大震災で緊急事態規定のない憲法の欠陥が明らかになった」「緊急事態対処の憲法体制を整備せよ」など、大震災に便乗した改憲の動きを強めました。

★五月十八日には、参院本会議で改憲手続き法に基づいて憲法問題や憲法改正原案を審議する「憲法審査会」の審査会規程が、民主、自民、公明各党などの賛成多数で可決、制定しました。

★六月七日には、憲法改正の発議要件を衆参両院の各3分の2以上の賛成から両院の過半数に緩和することを目指す「憲法九六条改正を目指す議員連盟」の設立総会が開かれました。民主と自民などの約百人が出席。自民党は「憲法制定以来、初めての改正の動きだ。今日は歴史的な一日になる」と豪語。九条を改正する前に改正しやすくしようとのこと。

# 平和憲法を守ろう！ 「ひらつか・9条の会」第7回総会報告

事務局長 大谷潔



2011年6月4日（土）午前10時～12時 J Aビル2階の市民活動センター会議室にて36名のご出席をいただき、第7回総会を開催しました。以下、ご報告申し上げます。

## 記念講演 「3・11と憲法—大震災のあとの『護憲』と『改憲』」

東海大学法科大学院の永山茂樹教授に震災後の気になる改憲の動きについてわかりやすくお話しいただきました。超党派の改憲派国会議員から、憲法には非常事態条項がないなどの欠陥が明らかになった、という意見が出されましたが、現行憲法でも災害対策は国会で法律を作ったり、予算を承認したりして実行できるのであり、仮に衆議院が解散されている場合でも、参議院の緊急集会の規定(54条2項)があるので、現行憲法でも十分対処できると説明されました。また、改憲派の議員が、憲法改正の発議要件(96条)の衆参両議院総数の3分の2以上を「過半数」に改正しようとする改憲案を出そうとする動きがあることも指摘されました。まず、憲法改正のハードルを下げて、改正しやすくしてから、本命の九条の改憲をしようという二段階改憲論であると説明されました。このような動きには十分気をつけなければなりません。

## 総会での質疑

8月15日について、当ニュースで「終戦記念日」と記載したことについて、「敗戦記念日」とすべきであるとのご意見がありました。今後皆様から広くご意見を伺いたいと思います。藤沢市において、いわゆる「つくる会」の歴史教科書が採択されようとしている問題について情報提供がありました。平塚ではまだそこまでの動きはないようですが、万が一今後そのような動きがありましたら、会員の皆様からの情報提供を是非お願いします。平塚市内のすべての小学校区に九条の会をとというご意見をいただきましたが、なかなかそのような運動の担い手が見つかりません。中心になって立ち上げていただける方がいらしたら、是非お願いしたいと思います。



## 会計報告

2010年6月1日～2011年5月31日 現在

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
カンパ	51,980	活動費	20,900
学習会参加費	19,500	通信費	18,400
雑収入	84	事務費	37,177
		謝礼	160,000
		交通費	30,000
		消耗品費	2,570
小計	71,564	小計	269,047
前期越金	345,130	次期繰越金	147,647
合計	416,694	合計	416,694

外部講師を招聘するなど、活発な活動を行った結果、昨年度からの繰越金が 173,475 円（6 月 8 日現在）しかありません。是非積極的にカンパをお願いします。

【会則】は改正されました。

1. 会の名称は、「平和憲法を守ろう！ ひらつか・9条の会」とします。
2. 会の活動は、日本国憲法9条を守るための学習や宣伝、署名などをおこないます。上記活動を広げるために主旨を同じくする団体に呼びかけ、或いは協力します。
3. 会の運営は、**代表者**、会員、事務局により行い、総会を年1回開き、**活動の方針と体制を決め**ます。
4. 会の財政は、募金などによります。



## 私と平和憲法 (1)

窪田とみ子

私を俗に云う「団塊の世代」です。この平塚に生まれ、平塚で育ちました。

私の生家は敗戦直前に空襲をまともに受けた所、家族から空襲の猛火の中、家を焼け出されて逃げ惑った話をよく聞かされました。しかし私が戦争を意識したのは空襲の体験談を聞く以前、ようやく物心が付いたときに、家の前を行き交う人々の中に見かけた手足を失った人達の姿からでした。姿は普通の人なのに片足を失って松葉杖で歩く人、片腕を失った人、その他にも身体の不自由な人を頻繁に見かけました。家の前の道は空襲で焼けて広がり、まだバラックが点在していました。身体障害者の姿は、幼児の目には不思議に思えて、ある時父に「あの人はどうしたの？」とききました。すると父は「あの人は戦争で大怪我をしたんだ」。戦争という言葉を知らない幼児は「戦争って何、戦争でどうして大怪我するの？」と聞きました。父は「戦争ってのは、人が人を殺すことだ、日本はアメリカと戦争し、そして中国に行っても戦争したん」父の顔は険しくなり、吐き捨てるように「天皇がバカだから戦争になったんだ」と言いました。また、幼児には理解できない言葉が出てきました。「天皇って何？」父「あー、日本の王様だ、馬鹿な王様だ」。その王様の命令で日本はアメリカと戦争して、また中国まで行って戦争して、そして負けたんだ、この平塚もアメリカからの空襲で丸焼けだ」。

「戦争」、「天皇」、「空襲」、父の口ぶりからこの初めて聞いた三つの言葉は、恐ろしいものとして、幼児の耳に深く残りました。

「平塚が空襲にあった」、間もなく上の兄弟が口々に「平塚はアメリカの飛行機が爆弾を落として、町は丸焼けになった。家も焼けて皆で逃げ回ったんだよ」と、顔をこわばらせて話して聞かせてくれた。猛火の中を逃げ回ったこと、そこで繰り広げられた阿鼻叫喚の光景、逃げ惑う人々が上空から射撃されるという、想像を絶する出来事に、幼児は振るえ上がりました。

ある時、家の前にこれまで見たことがないそれは大きなバスが停まり、その傍らで背の高い大きな身体をした軍服姿の人達が、解らない言葉で話していました。腰にはピストルを下げています。それを見た幼児は家に駆け戻り、大声で、「おウチが戦争になる」と叫びました。ところが家族は誰も驚きません。ちょっと目を外にやって誰云うともなしに「あー、進駐軍だ、アメリカの兵隊だ」。(アメリカの兵隊)、空襲の話しが耳にこびり付いて離れない幼児には、あの人が今にも家に襲ってくるように思えたのです。事実彼等は家に入って来ました。その一人が母にしがみついている幼児に近づき、ニコニコと微笑んで頭を撫で、見たこともないきれいなお菓子をくれたのです。母は今にも泣きそうにしている幼児を抱き上げ、「大丈夫、もう戦争していないから、あの人は怖くないヨ」と言いながら、幼児の関心を今もらったきれいなお菓子に向けました。もらったお菓子は大きな板チョコときれいな紙に包まれたキャンディーでした。アメリカ兵

を乗せた巨大なバスを見送った家族は驚きあきれて、「アメリカに負ける訳だ」と言ったものです。幼児はこの時既にさっきまでの怖さを忘れて、もらったお菓子に夢中でした。

それから間もなくのこと、家の前を西から東へと何台もの戦車が地響きを立て砂煙をあげて通って行きました。幼児が戦車を見たのは後にも先にもあの時だけでしたが、アメリカ兵が家にやってきた時とは比べ物にならない恐ろしさでした。戦争を知らない幼児はこの時、戦争の恐ろしさの一端を垣間見たのでした。家の前で見かける身体の不自由な人達の姿とこの戦車が「戦争」と「空襲」という言葉と幼児の心の中で繋がった一瞬でした。

家の前の道路は東海道、南北に交差する道は今の中央道路、いずれもまだ舗装もされていない砂利道で、交差点といっても信号もありませんでした。夜になって道を照らす街灯は白熱電球、道路の真ん中で台の上で交通整理をする警官の手には提灯、その提灯の灯りが明るく見えました。

## 活動報告

5月3日（火）憲法記念日 13:30～14:30 平塚駅前にて、ビラ配布と署名運動を実施しました。

5月17日（火）平和行進（平塚市役所～二宮町役場）に参加しました。

## 今後の活動予定

### 第28回定例学習会 「暗黒の戦中を生き」

講師 市川峯雄（矢崎9条の会）

日時 7月23日（土） 午前10時～12時

場所 平塚市市民活動センター 研修室（JR平塚駅南口 農協ビル TEL 0463-21-7517）

海軍航空技術廠で航空機の機関銃弾と爆弾の開発に従事された方の体験談です。

### 8月例会は中止 下記第9回「平和を語りつぐ」へご参加ください。 第9回「平和を語りつぐ」

日時 8月6日（土） 午前10時～16時 場所 八幡山洋館（旧横浜ゴム記念館）

午前10時：「シベリア抑留の体験」（高橋源太郎氏）

「内戦から平和へ～ドブプロニクから平塚」（三代沢史子氏）

午後1時：「沖縄の怒りとともに」（上原成信氏）

「広島爆心中島本町に生まれて」（北宏一郎氏）

**8月15日（月）終戦記念日 17:00～18:00 平塚北口駅前にて宣伝活動を実施します。**

できるだけご協力ください。

### 第29回定例学習会 「原発と9条」

講師 小山剛司（事務局）

日時 9月24日（土） 午前10時～12時

場所 中央公民館3階のA会議室

原発は必要か。将来のエネルギーはどうしたらいいか。平和憲法と9条からエネルギー問題を考えてみたい。